

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2005-69399 (P2005-69399A)
 【公開日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-011
 【出願番号】特願 2003-301203 (P2003-301203)
 【国際特許分類】

F 1 6 C 33/34 (2006.01)

F 0 4 B 39/00 (2006.01)

F 1 6 C 19/46 (2006.01)

F 0 4 B 27/08 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/34

F 0 4 B 39/00 1 0 3 P

F 1 6 C 19/46

F 0 4 B 27/08 N

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 8 月 25 日 (2006.8.25)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ころと、前記ころを保持する保持器とからなるニードル軸受用のころにおいて、前記ころの少なくとも一方の端面を、旋削加工もしくは研磨加工により平坦としたことを特徴とするニードル軸受用のころ。

【請求項 2】
 請求項 1 に記載のニードル軸受用のころを用いたことを特徴とするニードル軸受。

【請求項 3】
 請求項 2 に記載のニードル軸受を用いたことを特徴とするカークーラコンプレッサ。

【請求項 4】
 請求項 2 に記載のニードル軸受を用いたことを特徴とする自動車用変速機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【0 0 0 7】

本発明のニードル軸受用のころは、ころと、前記ころを保持する保持器とからなるニードル軸受用のころにおいて、前記ころの少なくとも一方の端面を、旋削加工もしくは研磨加工により平坦としたことを特徴とする。